




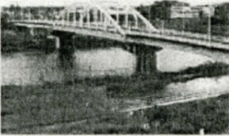


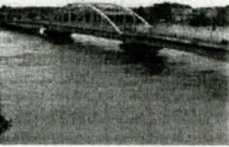
3-4-22 鈴木凜、掛川笑花

P.5・6の作成例を参考にしてみよう!

「マイ・タイムライン」を作ってみよう!

作成年月日 年 月 日

台風が発生してから川が氾濫するまでの、自分がとるべき行動を書き出してみましょう!
 ※情報が発信されるタイミングは例であり、必ずしも下記のとおりに行進するとは限りません。※川の写真はイメージです。
 ※災害発生情報は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。

氾濫までの時間	行政からの情報 行政の動き	想定される気象 河川の状況	マイ・タイムライン	ポイント
3日前	台風予報 (早期注意情報) 警戒レベル 1 相当 大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル 2 相当	台風が発生 台風が近づくとつれ、雨が降り始める。 だんだん雨が強くなる。 雨がさらに強くなり、川の水位も上昇し始める。	避難経路の確認 非常用持出品の準備 家具の移動 (2階へ) 家族との連絡手段の確認	ポイント 非常用持出品の例 気象情報の取得方法
2日前	大雨警報・洪水警報 		水の準備 (トイレ用)	避難情報の取得方法
1日前	水防団が待機 水防団が出勤 	川の水位が水防団待機水位に到達 川の水位が氾濫注意水位に到達 		川の水位の情報の取得方法
半日前	避難情報 警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始 発令 ・緊急速報メール (エリアメール)	川の水位が避難判断水位に到達 	すぐに避難できるようにする	避難についてのポイント 避難の方法 徒歩 避難する場所 大家小学校 避難先までの所要時間 15分
4時間前	避難情報 警戒レベル 4 避難勧告または避難指示 (緊急) 発令 ・緊急速報メール (エリアメール)	川の水位が氾濫危険水位に到達 	大家小学校に避難 避難完了	逃げ遅れないこと! 過去の被害において、避難情報が出ていても関わらず、自宅に留まり、避難できなくなった方がいました。命を守るために重要なのは、逃げ遅れないことです。今までの台風でも避難の必要はなかったから今回も大丈夫とは限りません。避難できない状況になる前に避難するようにしましょう。
2時間前	災害発生情報 警戒レベル 5 災害発生情報 発表 ・緊急速報メール (エリアメール)	氾濫が発生 	【逃げ遅れた場合】 命を守る最善の行動 垂直避難 避難が遅れたことにより、外に避難することが危険な場合、垂直避難 (上の階への避難) も選択肢のひとつになります。	川の水が氾濫する時間から逆算して、いつまでに避難を完了させればよいか、考えましょう。 いつ、どのような行動をとるべきか迷ったときには、「大雨警報が発表されたら持ち出し品の準備をする」や「氾濫注意水位になったら避難を始める」など、気象情報や川の水位と自分の行動を対応させると、わかりやすいです。
0時間				